

西南女学院大学短期大学部の三つの方針について（2016年度入学生用）

本学では、建学の精神である「感恩奉仕」を基本とし、教育上の目的を踏まえた「卒業の認定に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」及び「入学者の受入れに関する方針」の三つの方針を策定し、公表しています。

これは、育成すべき人材像を明確化した上で、それを実現するための適切な教育課程を編成し、体系的・組織的な教育活動を行うとともに、本学の教育を受けるにふさわしい学生を受け入れるための入学者選抜を実施することにより、その使命をよりよく果たすためです。

短期大学部

卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）

短期大学部の学位は、各学科の教育目的に沿って設定された科目を受講し、所定の単位数を修得した者に与えられる。

なお、以下の要件を満たした者に単位が与えられる。

DP1【知識・理解】

1-1) 「人文科学」、「社会科学」、「自然科学」、「言語」の一般教育4領域において、基本的知識を修得している。

1-2) 生活関連または保育領域の基礎的な専門知識を修得している。

DP2【思考・判断】

2-1) 生活関連または保育領域において、適切な対応を自ら考えることができる。

DP3【関心・意欲】

3-1) 生活関連または保育領域の課題について関心を持っている。

DP4【態度】

4-1) 家庭・地域・社会の担い手として、または保育者としての責任を自覚している。

DP5【技能・表現】

5-1) 家庭や企業、または保育現場で活躍するための基礎的能力と表現力を身につけている。

生活創造学科

卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）

生活創造学科では、学科の教育目的を達成するために設定された科目を履修して所定の単位数を修得し、以下の要件を満たす者に短期大学士(生活学)の学位を授与する。

DP1【知識・理解】

1-1) 豊かな人間性と社会性を支える教養を身につけている。

1-2) 地域社会、家庭において期待される女性のあり方に関する基礎的な知識と理解を有している。

DP2【思考・判断】

2-1) 生活学に関する諸課題について主体的に思考・判断することができる。

DP3【関心・意欲】

3-1) 生活を満たし、更に生活を創造することに向けた深い関心を持ち、より豊かな生活を営むことに意欲をもっている。

DP4【態度】

- 4-1) 生活学に関する知識および技術を高め、現代社会の要請に応えることのできる女性を目指して努力を重ねることができる。

DP5【技能・表現】

- 5-1) 他者とつながるために、自分の考えや感性を表現し伝えるといった力を備えている。
- 5-2) 自分を大切にし、生きるために必要な知識や技術を習得している。
- 5-3) 生活を充実させるための課題を、実践的・体験的な学習を通して解決することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）

生活創造学科では、教育目的に基づき、卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）を実現するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成している。

1. 豊かな人間性と、高い倫理観、生活に資する教養を養うために、学部共通の一般教育科目として「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然科学系科目」、「言語系科目」を設置する。
2. 生活学を学修する過程で直面する課題を認識し、解決する力を養うために、他者につながる、よりよく生きる、生活を充実させることに関する専門教育科目を設置する。
3. 個人、家庭、社会とつながるために必要な力を養うことを目的として「コミュニケーションをとる力」「ITを活用する力」に関する専門教育科目を設置する。
4. 健全でより良く生きる力を養うことを目的として「自分を大切にする力」「素材をデザインする力」に関する専門教育科目を設置する。
5. 生活学の学修を統合的に結実させることを目的として「プロデュースする力」に関する専門教育科目を設置する。

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）

本学科では、次のような学生の入学を期待しています。

1. 生活に関連する分野に興味・関心を持つ人。
2. 他者につながり、自分の考えや感性を伝えたいと考える人。
3. 社会とつながりながら、自分の将来を考えたい人。

保育科

卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）

保育科では、学科の教育目的を達成するために設定された科目を履修して所定の単位数を修得し、以下の要件を満たす者に短期大学士（保育学）の学位を授与する。

DP1【知識・理解】

- 1-1) キリスト教精神を基盤に、教養と知識を身につけている。
- 1-2) 保育者に必要な専門分野の学問知識を修得している。

DP2【思考・判断】

- 2-1) 個々の子どもを深くとらえ、保育としての適切な対応を考えることができる。

DP3【関心・意欲】

- 3-1) 子どものあそびや子ども文化などに興味を持つ。
- 3-2) 子どもや保護者を含めた現代的課題に関心を持ち、保育者としての社会的な役割を意識する。

DP4【態度】

- 4-1) 保育者としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる。
- 4-2) 自らの保育実践を振り返り、さらに質の高い保育を探求する力を有している。

DP5【技能・表現】

- 5-1) コミュニケーション能力やマナーを身につけ、他者と協働することができる。
- 5-2) 保育内容をふまえた基本的な表現技術を身につけている。
- 5-3) 子どもや保護者への適切なあそびや養護技術などを実施することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）

保育科では、教育目的に基づき、卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）を実現するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成している。

1. 短期大学士としての必要な教養を身につけられるよう、一般教育科目として「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然科学系科目」、「言語系科目」の各系統に分類される科目を配置している。
2. 保育者に必要な知識・技術を養うための専門科目として「保育の本質・目的に関する科目」、「保育の対象の理解に関する科目」、「保育の内容・方法に関する科目」、「保育の表現技術」の各科目群に分類される科目を配置している。その科目群は、段階的に進行するよう各科目を配置し、さらに総合的な力を養うための実習関連科目を配置している。
3. 学科の教育目的を達成するために必要不可欠な科目を卒業必修科目とし、幅広い教養を資するための選択科目を配置している。
4. 保育士資格と幼稚園教諭二種免許を取得するために必要な科目を別途資格免許に係る必修科目として配置している。また、多様化する社会のニーズに対応するために「ピアヘルパー資格」「こども音楽療育士」「認定ベビーシッター資格」が取得できる選択科目を配置している。

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）

本学科では、次のような学生の入学を期待しています。

1. 子どもに関連する分野に興味・関心を持つ人。
2. 自分の考えを他者に伝えることのできる人。
3. 他者とかかわり、共に活動しようとする人。